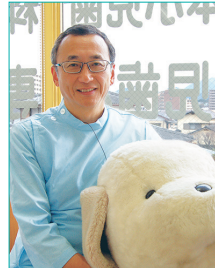
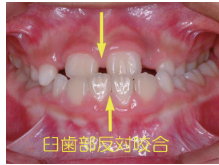


教えて歯医者さん！ 子どもの歯並びについてⅢ

はは歯クラブ
無料歯みがき指導・相談
2/5・15（要予約）
問）ゆきなり小児・矯正歯科

歯並びに問題がある場合を不正咬合と呼びますが、どのようなものがあるのでしょうか。

反対咬合：前歯のかみ合わせが前後逆になっている場合。奥歯のかみ合わせが逆になっている場合を臼歯部反対咬合と言い、上顎の左右の奥歯の幅が狭いためにかみ合うときに不都合なぶつかりが生じ下顎が横にズレてしまうものです。ですから下の写真のように上下の歯の真ん中（正中）がズレ、口元も曲がり顔もゆがんできます。



院長 行成哲弘

【資格、学会】
・日本小児歯科学会認定
小児歯科専門医
日本矯正歯科学会、
全国小児歯科開業医会、
日本歯科医師会

上顎前突：一般的には出っ歯と言われている場合で、かみ合った場合に下の前歯が上の前歯に覆われて見えなくなる場合を過蓋咬合と言い、上顎前突の一種です。

叢生：隣同士の歯が重なって「ガタガタ」に生えている場合で、一般的に八重歯と言われるもの含まれます。

開咬：奥歯はかみ合っているのに前歯が垂直的にかみ合わない場合。永久歯が生えかけでかみ合っていない場合は含みません。

正中離開：上下の前歯の間に6mm以上の隙間がある場合。

埋伏歯：顎の骨の中で永久歯の芽ができる位置や方向が悪く、歯が生える時期を過ぎているのかかわらず歯が生えてこない場合があります。

空隙歯列：永久歯が小さく、あごの幅とのバランスが悪く、全体に隙間が空いているものです。

気になる場合は小児歯科専門医、矯正歯科専門医へご相談ください。HPは「ゆきなり」で検索すると簡単です。過去の「親子のひろば」もダウンロードのページに掲載しています。

ゆきなり小児・矯正歯科
【小児歯科診療、矯正歯科診療、
予防、歯育て健診】

長崎市葉山2-5-26
TEL:095-857-8211



待合室横の屋外キッズスペース